

●配本部数指定のお願い●

芙蓉書房出版

〒162-0805
東京都新宿区矢来町 113-1
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL:03-5579-8295

新刊 11月上旬 発売

【戦略研究35】

The Journal of Strategic Studies

戦略研究学会 編集 A5判 214ページ 本体 2,500円

軍事・政治・外交・経営・環境など、広範な角度から

「戦略」の本質を研究する唯一の学会の機関誌最新号

<特集> 戦略研究と人間本性

論文

◇明治日本の願望と憤慨—怒りの観点からみる日清戦争— 扇 理恵子(防衛省海上自衛隊海上幕僚監部)

◇紛争発生・拡大とナショナリズム—満州事変を事例に— 扇 直人(防衛省海上自衛隊海上幕僚監部)

研究ノート

◇平和構築と人間性—平和構築活動への進化政治学の適用の可能性—
須田 道夫(在フィリピン日本国大使館一等書記官/独立・退役武装解除機関任務支援統括官)

<第二特集> 何が軍事組織のパフォーマンスを決めるのか

論文

◇防衛力整備の全体最適としてのPPBS—米国国防総省と防衛省の予算制度比較—
高橋 玄洋(東京科学大学環境・社会理工学院博士後期課程/航空自衛隊幹部学校教育部教官)

◇航空戦力のパフォーマンスを支える要因—帝国陸軍における航空器器材の取り扱いについて—
松原 治吉郎(防衛省防衛研究所戦史研究センター史料室主任研究官)

◇ゲーム・チェンジャー技術の軍事的効果への影響—米間期の機甲戦開発の事例を中心に—
塚本 勝也(防衛省防衛研究所戦史研究センター安全保障政策史研究室長)

◎論文

謀攻篇と九地篇の論理的解釈—「孫子の組織」—
神藤 猛(元政府CIO補佐官)

◎書評論文

伝統的アプローチの復権か?—国際関係史研究の意義と技法についての省察
マーク・トラクテンバーグ著 村田晃嗣・中谷直司・山口航訳
『国際関係史の技法:歴史研究の組み立て方』
鈴木 健人(明治大学情報コミュニケーション学部教授)

11月上旬より順次出荷します

FAX:03-5579-8786

番線印	発行 芙蓉書房出版	注文数	担当者
	戦略研究 35号		
	本体 2,500円		
	ISBN978-4-8295-0889-3 C3030	部	